

(社) 日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会
第 59 回 レベル 1PRA 分科会 議事録

1. 日時 第 59 回 : 2015 年 7 月 29 日 (水) 13:30~16:00
2. 場所 原子力安全推進協会 B 会議室
3. 出席者
(出席委員) 高田主査、桐本副主査、鎌田幹事、佐藤、佐藤 (親)、小西 (小谷代理)、
内藤 (谷口代理)、岩谷、岡野、池田 (五十嵐代理)、黒岩、小森 (12 名)
(常時参加者) 濱口、野村、錦見 (3 名)
(傍聴者) 富安 (1 名)

(敬称略)
4. 配布資料
P4SC-59-1 第 58 回レベル 1PRA 分科会議事録
P4SC-59-2-1 第 34 回リスク専門部会の最終報告について
P4SC-59-2-2 リスク専門部会向け説明資料 (パワポ版)
P4SC-59-3-1 リスク専門部会書面投票コメント対応一覧表
P4SC-59-3-2 標準委員会向け説明資料
P4SC-59-3-3 PRA 用パラメータ標準改定案 (書面投票コメント反映版)
5. 議事内容
 - (1) 出席者/資料確認
委員 12 名が出席しており、分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。
 - (2) 第 58 回議事録の確認 (資料 P4SC-59-1)
資料 P4SC-59-1 を用いて第 58 回の議事録を確認し、特にコメントなく確定された。
 - (3) リスク専門部会での最終報告の審議結果について
資料 P4SC-59-2-1 及び P4SC-59-2-2 を用いて、第 34 回リスク専門部会での最終報告の審議結果について報告があった。山口部会長から 2 件、成宮幹事から 1 件のコメントが出された。対応については(4)にて審議した。

(4) リスク専門部会の書面投票結果及びコメント対応について

資料 P4SC-59-3-1、P4SC-59-2、及び P4SC-59-3 を用いて、リスク専門部会及び同部会書面投票における計 21 件のコメント及びその対応について説明があり、内容について審議した。主な審議は以下の通り。

・番号 2 :

附属書(参考)について、本文規定ではない例示を具体的に書き過ぎているとのコメントについて審議された。津波 PRA 標準のように事例集のような形でハンドブックの部分を別冊にすることも 1 つの案であるが、パラメータ標準をレベル 1PRA 標準と切り離したのは、ユーザーが仕様規定+ハンドブックの位置づけで活用できることを目指したものであり、当初の主旨に反するコメントである、ユーザーの立場からは仕様規定だけでは使い難い等、反対意見が出された。原子力学会標準全体に係る問題であるため、原子力学会の方針を確認したうえで対応することとした。なお、PRA 活用検討タスクにて同議論がなされているため、参考として本分科会での意見を同タスクにて紹介することとした。

・番号 3 :

附属書を引用する際に、本文規定の何に対する説明又は例示なのかを分かるようにした方がよいとのコメントへの対応について審議された。附属書のタイトルで引用の内容が理解できるものが大半であるが、資料 P4SC-59-3 の p. 18 における附属書 U の引用が円滑でないため、同附属書のタイトルを「ベイズ推定における事後分布の妥当性確認と対処検討の例」に変更することとした。

・番号 8 :

対応方針として、JSME の記載と合わせている旨を追記することとした。

・番号 9 :

6.3.1 の c)において「保守的に」とあるが、メンテナンスの保守と混同する可能性があるため、「安全側に」に変更した方がよいとのコメントについて、「安全側」という言葉では意味が明確でないとの意見が出された。当該の文章については「保守的に」を削除しても意味が通じるため、削除することとした。他に「保守的に」が使われている箇所がないかを確認することとした。

・番号 14 :

附属書 C.3.1 において「・・・べきである」の様に規定と捉えられる文末が使われているため、「・・・ことが重要である」に変更した方がよいとのコメントについて審議した。

当該箇所は附属書(参考)として NUREG を翻訳したものであり、規定でないことは明らかであるため修正不要とする対応方針にした。

・番号 18 :

コメント拝承とするが、附属書 L のタイトル括弧内に、参照している NUREG の番号を全て記載することとした。

(5) 標準委員会に向けた報告について

資料 P4SC-59-3-2 を用いて標準委員会にて報告することが確認された。

(6) スケジュール、その他

8 月及び 9 月の分科会は休会とする。9 月に作業会ベースで停止時 PRA 標準の改定の準備を始め、10 月の次回分科会から同標準の改定について審議する。次回分科会は 10/13 とした。

以 上